

ヒンキ・ディンキ・パーリー・ブー

HINKY DINKY PARLEY—VOO

(アメリカ)

この曲は、第一次世界大戦でフランスに進駐したアメリカ兵に愛唱された流行歌である。この歌が間もなくスクエアダンスに取り入れられてシンギング・コールがつけられ、さらにプレイパーティやミクサー用としてフォークダンス風にも振り付けられた。その後の変遷で踊り方も種々紹介されたが、ここではその代表的なものを紹介する。

「ヒンキ・ディンキ」とは“すばらしい”とか“一流の”とかいう意味のスラングで、「パーリー・ブー」は、フランス語の *Parlez Vous* が語源で、“話せますか？ (フランス語を)” という意味である。

◆音 楽 4/4 拍子。前奏 4 呼間。1 回の踊り 64 呼間。全曲で 5 回踊れる。

◆隊 形 シングル・サークル。男子はパートナーを右におき、全員円内向きで肩の高さに連手する。

◆ステップ ウォーキング・ステップ (ウォーク)、バズ・スイング。

◆踊り方

I. センター・アンド・バック

全員円内へ連手したまま 4 歩前進 [1~4]、4 歩後退して元の位置へ戻る [5~8]。

……………8 呼間

II. パートナーとドー・シー・ドー

連手を解いて円周上でパートナーと向き合い (男子 LOD 向き、女子逆 LOD 向き)、8 歩で右肩すれ違いのドー・シー・ドーを行い、最後にコーナーと向き合う [1~8]。

……………8 呼間

III. コーナーとドー・シー・ドー

同様にコーナーと右肩すれ違いのドー・シー・ドーを行い、最後に再びパートナーと向き合う [1~8]。

……………8 呼間

IV. パートナーと右手まわり

パートナーと右手同士をつなぎ、その場を CW に 1 回転する [1~8]。 ……………8 呼間

V. グランド・チェーン (グランド・ライト・アンド・レフト)

パートナーと右手を引き合うようにして通り抜け [1, 2]、次の人と左手を取って引き合うようにしながら通り抜け [3, 4]、3 人目の人と右手をとってゆっくり挨拶を行い [5~8]、さらに、その人との右手を引き合うようにしながら通り抜け [9, 10]、4 人目の人と左手を引き合うようにしながら通り抜け [11, 12]、5 人目の人と右手を取ってゆっくり挨拶を行う [13~16]。 ……………16 呼間

VI. バズ・スイング

挨拶をした 5 人目の人とクローズド・ポジションに組んでバズ・スイングを行う [1, ア~8, ア]。 ……………8 呼間

Ⅶ. プロムナードで LOD へ

その人とプロムナード・ポジションに組んで LOD へ 8 歩前進し、最後に男子はその人を右において新しいパートナーとし、円内を向き全員連手のシングル・サークルとなる [1~8]。

……………8 呼間

以上をくりかえす。

◆留意点

- 1) プレイパーティー・ゲームとしてのダンスなので、どちらの足から踊り始めてもよい。
- 2) グランド・チェーンで挨拶の時は連手をせずに行う方法もある。また挨拶の代わりに、ゲーム的にジャンケンをする方法もある。
- 3) I の前進、後退を 2 回行い、II と III を各 4 呼間ずつで行う方法もあるが、少々いそがしい。